



京丹後署管内における 9月末の交通事故情勢について



★交通事故発生状況と今後の傾向について

9月末日現在、京丹後市内において、怪我のある事故は15件発生しており、昨年に比べて12件減少しています。

これから年末にかけて、人や車の動きが慌ただしくなるだけでなく、冬の観光シーズンに向けて、京丹後市内に流入する車両や交通量の増加が予想されます。昨年10月から12月に発生した交通事故の特徴として、

- **薄暮時間帯**から**夜間**にかけて発生
- **国道312号**や**国道178号**で発生
- 前方不注意による**追突事故**や**歩行者**との事故が発生
- **高齢者が当事者**の事故が**約7割**を占める



ことなどがあげられます。

ドライバーの皆さんは車間距離を充分に取り、慎重な運転を心掛けましょう。高齢者の皆さんは、自宅付近の通り慣れた道路でも油断せず、安全な行動をお願いします。

★今後の交通事故防止対策について

飲酒運転根絶啓発ポップ

◎飲酒運転の根絶

京丹後市内のスーパーやコンビニの酒類販売コーナーに飲酒運転根絶を呼び掛けるポップを掲示し、各店舗において広報啓発活動を実施しています。

飲酒運転をした人もさせた人も罪に問われます。お酒を飲んだら絶対に運転をしないようにお願いします。



◎薄暮及び夜間の交通事故防止

○早めのライト点灯を心掛けましょう!

秋から冬にかけて急速に日が暮れ始め、例年、日没前後1時間は交通事故が増加する傾向にあります。同時に歩行者が関係する交通事故が目立つので、歩行者を早く発見するためにも、**午後4時**になれば**ライトを点灯**するよう心掛けましょう。

○明るい色の服装と反射材を身につけましょう!

夕方から夜間にかけては、ドライバーは歩行者や自転車の発見が遅れやすく、重傷や死亡などの重大な交通事故繋がる可能性が高くなります。夕方以降の外出時は、白色など**明るい色の服装**や**反射材**を身につけるなど目立つ工夫をしましょう。



◎子どもを始めとする歩行者の安全確保

信号機のない横断歩道を横断するときは、「止まる、見る、待つ」の従来の横断要領に加え、「手のひら」と「顔」を運転者に向けて**「合図」**をして、横断をする意思を運転者に伝えるようになりました。保護者の皆さんだけでなく、保護誘導活動を行う交通ボランティアの皆さんも、子どもたちに分かりやすく丁寧な交通安全指導をお願いします。

また、ドライバーの皆さんは、合図をする子どもたちを見掛けたら、温かい心で見守ってください。

